



2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年8月5日

上場会社名 日本ピラー工業株式会社
コード番号 6490 URL <https://www.pillar.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩波 嘉信

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 藤井 正博

TEL 06-7166-8248

四半期報告書提出予定日 2022年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	10,704	17.2	2,975	28.6	3,338	40.3	2,349	38.5
2022年3月期第1四半期	9,135	31.4	2,313	119.9	2,380	117.2	1,696	116.6

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 2,469百万円 (27.2%) 2022年3月期第1四半期 1,941百万円 (98.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	99.35	
2022年3月期第1四半期	71.77	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	64,324	53,139	82.6
2022年3月期	64,991	52,658	81.0

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 53,139百万円 2022年3月期 52,658百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		45.00		61.00	106.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)					108.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	44,000	8.2	11,800	3.6	11,800	0.2	8,300	0.2	351.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	25,042,406 株	2022年3月期	25,042,406 株
期末自己株式数	2023年3月期1Q	1,398,569 株	2022年3月期	1,398,499 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	23,643,855 株	2022年3月期1Q	23,632,528 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限の緩和などにより、個人消費の持ち直しの動きや、経済活動の正常化もみられるなど、緩やかな回復基調で推移いたしました。

一方、世界経済においては、新型コロナウイルス感染症対策と経済の両立が進んでいるものの、ロシア・ウクライナ情勢等の地政学リスク、資源価格・物流費の高騰、半導体不足問題など、引き続き景気の先行きは不透明であります。

このような環境の中、電子機器関連事業においては、半導体需要の増加に伴い半導体・液晶製造装置関連業界向けピラフロン製品が売上を牽引し、売上高は前年同期比で増加となりました。また、産業機器関連事業では、半導体市場に関連する精密機械装置向け製品、化学関連及び船用向け製品の販売が堅調に推移し、売上高は前年同期比で増加となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高107億4百万円（前年同期比17.2%増）、営業利益29億75百万円（前年同期比28.6%増）、経常利益33億38百万円（前年同期比40.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益23億49百万円（前年同期比38.5%増）となりました。

連結売上高をセグメント別に見ますと、電子機器関連事業は79億59百万円（前年同期比17.0%増）、産業機器関連事業は27億33百万円（前年同期比18.8%増）、その他部門（不動産賃貸業等）は11百万円（前年同期比61.9%減）となりました。

また、営業利益のセグメント別につきましては、電子機器関連事業は24億61百万円（前年同期比22.2%増）、産業機器関連事業は5億5百万円（前年同期比80.0%増）、その他部門（不動産賃貸業等）は8百万円（前年同期比53.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、現金及び預金の減少等により前連結会計年度末に比べ6億66百万円減少し、643億24百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、未払法人税等の減少等により前連結会計年度末に比べ11億47百万円減少し、111億85百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により前連結会計年度末に比べ4億80百万円増加し、531億39百万円となりました。

この結果、自己資本比率は82.6%（前連結会計年度末は81.0%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年5月12日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,165	18,831
受取手形及び売掛金	9,056	9,195
電子記録債権	3,953	5,387
商品及び製品	912	1,165
仕掛品	1,698	2,034
原材料及び貯蔵品	918	1,141
その他	347	394
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	38,050	38,149
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,452	11,729
機械装置及び運搬具(純額)	2,258	2,153
土地	4,773	4,594
その他(純額)	788	1,007
有形固定資産合計	20,272	19,485
無形固定資産	222	204
投資その他の資産		
投資有価証券	5,490	5,529
退職給付に係る資産	369	429
その他	606	546
貸倒引当金	△18	△18
投資その他の資産合計	6,446	6,486
固定資産合計	26,941	26,175
資産合計	64,991	64,324
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,434	4,357
電子記録債務	293	441
短期借入金	250	250
未払金	1,109	1,180
未払法人税等	2,974	833
賞与引当金	856	431
資産除去債務	117	117
その他	1,078	1,227
流動負債合計	10,113	8,838
固定負債		
長期借入金	100	100
退職給付に係る負債	1,596	1,589
資産除去債務	158	160
その他	364	496
固定負債合計	2,219	2,346
負債合計	12,333	11,185

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,966	4,966
資本剰余金	5,208	5,208
利益剰余金	41,137	41,498
自己株式	△1,572	△1,572
株主資本合計	49,739	50,100
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,381	2,129
為替換算調整勘定	468	799
退職給付に係る調整累計額	68	109
その他の包括利益累計額合計	2,919	3,039
純資産合計	52,658	53,139
負債純資産合計	64,991	64,324

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	9,135	10,704
売上原価	5,348	6,060
売上総利益	3,786	4,643
販売費及び一般管理費	1,473	1,667
営業利益	2,313	2,975
営業外収益		
受取配当金	41	71
為替差益	5	260
その他	21	32
営業外収益合計	68	364
営業外費用		
支払利息	0	0
固定資産処分損	0	0
その他	0	0
営業外費用合計	1	1
経常利益	2,380	3,338
特別利益		
投資有価証券売却益	1	20
特別利益合計	1	20
税金等調整前四半期純利益	2,381	3,358
法人税、住民税及び事業税	596	804
法人税等調整額	88	205
法人税等合計	685	1,009
四半期純利益	1,696	2,349
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,696	2,349

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	1,696	2,349
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	85	△251
為替換算調整勘定	162	330
退職給付に係る調整額	△2	41
その他の包括利益合計	245	120
四半期包括利益	1,941	2,469
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,941	2,469

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電子機器 関連	産業機器 関連	計				
売上高							
外部顧客への売上高	6,803	2,300	9,104	31	9,135	—	9,135
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	3	3	△3	—
計	6,803	2,300	9,104	34	9,138	△3	9,135
セグメント利益	2,014	280	2,295	18	2,313	—	2,313

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電子機器 関連	産業機器 関連	計				
売上高							
外部顧客への売上高	7,959	2,733	10,692	11	10,704	—	10,704
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	7,959	2,733	10,692	11	10,704	—	10,704
セグメント利益	2,461	505	2,967	8	2,975	—	2,975

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。